

「学園祭実行計画書の承認過程に関して」

学園祭実行計画書の承認を、学内行事委員会および議長団の承認を以て全大会の承認とし、会議では参考資料として扱うことを提議いたします。

（条文案）

学園祭実行計画書に関しては、学内行事委員会による承認を経たのち、全大会議長団の承認を以て全大会の承認とする。また、「学園祭開催に関する要請」の審議において、参考資料として全大会構成員による審議を行う。なお、各資料は全大会構成員による確認が随時行えるよう配慮しなければならない。

（提議事由）

学園祭実行計画書に関する毎年の審議は全大会にとって大きな負担である。これを改善するため、会議での決議を必要とする事項を削減することを提案した。

一次実行計画書は従来会議で決議を行っていたが、実際の会議内容は内行における赤入れの延長に近い。実際に、一次実行計画書の承認によって申請される事項は「広報宣伝活動の許可」のみである。これらの内容に会議を費やすことは効率的ではない。対して二次実行計画書は「学園祭開催の許可」の申請を伴っており、加えて具体的で詳細な内容が記述されている。よって、実行計画書の会議での審議は二次実行計画書の段階での一回にまとめるのが理にかなっているのではないかと考えた。

加えて、この審議で実行計画書を議題とするのは負担が大きい。議題とした場合、資料は正確なものを用意する必要がある。しかし、会議直前の変更を確実に把握しきったうえで訂正するのは多大な労力を必要とする。全大会としても、変更の対応のために資料の用意が直前になってしまうという問題を生じさせている。よって、実行計画書を事前に内行および議長団で承認したうえで、本会議ではこの時点でのものを参考資料という扱いで審議することが現実的であると考える。